

施策45 生涯学習・スポーツ情報システムの構築

施策における目標

生涯学習情報や公共施設予約システムの整備を図り、施設利用者の利便性の向上を図ります。

施策概要

生涯学習・スポーツ施設のインターネット予約システムや図書館の蔵書情報検索・予約など情報システムの整備を図ることによる、施設利用者の利用促進。

想定される主な取り組み

- ・公共施設予約システム・スポーツ施設情報システム・インターネット予約に伴う図書館情報システムについて、さらなる利便性の向上を図る。
- ・施設利用者の利便性の向上及び利用の促進を図る。
- ・効率的な図書館蔵書管理システムの検討を行う。
- ・施設利用者の利便性を向上を図るため、インターネットを活用した公共施設予約システムを導入する。

第2期実施計画における総評

・施設利用予約情報6館ネットワーク、スポーツ施設情報システム(オーパス)、図書館電算情報システムを実施し、施設利用者の利便性を図った。
 ・各家庭のインターネットの普及により施設利用者の利便性の向上につながっている。今後は、サービス内容を時代に即した内容にシステム化し、市民サービスの向上を図っていく必要がある。

施策46 生涯学習・スポーツ施設の整備

施策における目標

老朽化が進む各施設の安全性の向上を図るため、計画的な施設改修を実施し、施設利用者が快適に利用できる環境づくりに努めるとともに、公共施設配置構想に基づく必要な公共施設(生涯学習機能)の整備充実を図ります。

施策概要

生涯学習センター・図書館などの生涯学習施設、体育館・運動場などのスポーツ施設の利便性、安全性向上のための整備・改修や近隣市町との公共施設の共同利用の促進、民間施設との連携。

想定される主な取り組み

- ・老朽化が進む施設の安全性向上を図るため、生涯学習センター・図書館・スポーツ施設の計画的な施設改修を行う。
- ・公共施設再配置に伴う生涯学習施設の整備を検討する。

第2期実施計画における総評

施設管理者の適切な維持管理により、施設の整備に関する満足度調査では、高い評価を得ている。しかしながら、老朽化している施設が多いため、今後計画的な改修が必要である。